

題 材 計 画 (例)

支援領域名：生活支援		学習の形態名：生活学習（くらし・情報）	
題材名：パソコンや携帯電話を使おう		総時数：4時間	高等部1～3年
題材設定の理由	<p>近年、情報化が急激に進み、生徒たちもパソコンや携帯電話等の情報機器を使う機会が増えてきている。一方で、使用のマナーやインターネット上のルールを知らないが故に、トラブルに巻き込まれてしまったり、トラブルを引き起こしてしまったりするケースも少なからず起きている。これらの情報機器は、正しく活用することができれば、日常生活の利便性が高まるだけでなく、生活を彩るための選択肢の一つとなり得る。ルールやマナーを身に付け、情報機器を正しく活用する力を育てることは、今後更に高度化する情報社会の中で、より良く生きるために必要と考える。</p> <p>指導にあたっては、聞き取り調査等により生徒の実態把握を十分にした上で、指導内容を精選し、必要に応じてグループ別学習を取り入れるなどの工夫をする。また、実際に情報機器を使った内容を取り入れることで、体験的に学べるようにするとともに、学んだことを実生活で活かそうとする態度を育てたい。さらに、ルールやマナーについては、生徒同士の意見交換を通して、なぜ守らなければならないかを考え、自分で判断する力も養いたい。</p>		
	題材目標	<p>(1) パソコンや携帯電話に関心を持ち、利用しようとするができる。</p> <p>(2) パソコンや携帯電話の使い方が分かり、実際に活用することができる。</p> <p>(3) パソコンや携帯電話を活用するにあたり、ルールやマナーがあることが分かり、それらを守って正しく活用することができる。</p>	
	学習活動	指導のポイント	教材教具等
1 2	<p>【パソコンや携帯電話を使う時のルールやマナーについて考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇×クイズ ・話し合い活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活で起こる様々な場面を取り上げたクイズを通して、正しい使い方や危険性について具体的なイメージをもって考えられるようにする。 ● 友達の意見を聞き、自分の考えを確かめたり、深めたりすることができるようにする。 ● ルールやマナーの理解とともに、「相手や周囲の人の気持ちを考える」、「困ったときは相談する」をキーワードとしてより具体的な対処方法についても考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査の結果 ・自分の携帯電話 ・情報機器 (携帯電話、スマートフォン、タブレットPC、パソコン等) ・ゲストティーチャーの招聘、講話 ・ワークシート ・スライド
3 4	<p>【パソコンや携帯電話を使ってみよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に情報機器を使って、課題を解決する。 <p>〈課題の例〉 「必要な情報を得る方法」、「検索の仕方」、「印刷の仕方」、「情報の整理と活用、取捨選択」、「写真や動画の保存と整理の仕方」、「作品作り」等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の情報機器を使用し、より具体的な活用方法を学べるようにする。 ・生徒一人一人の利用状況や理解度に応じたグループ学習を取り入れ、それぞれに適度な課題を設定する。 ● 課題解決を通して、友達と協力して取り組む態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器 (携帯電話、スマートフォン、タブレットPC、パソコン、電子黒板、プリンター、デジタルカメラ等) ・使用ソフト及びアプリケーション (ワード、エクセル、メール、カメラ、メモ、電卓、動画、音楽、ゲーム、LINE等)

●：「つながる力」との関連